

寝屋川市

介護予防・日常生活支援総合事業 (モデル事業)実証事業報告会

～通所型サービス（短期集中）の効果検証～

平成30年9月28日（金）

14時～16時30分

アルカスホール2階 メインホール

寝屋川市 通所型短期集中モデル事業

(介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業)

寝屋川市将来推計(寝屋川市高齢者保健福祉計画(2018~2020)参照)

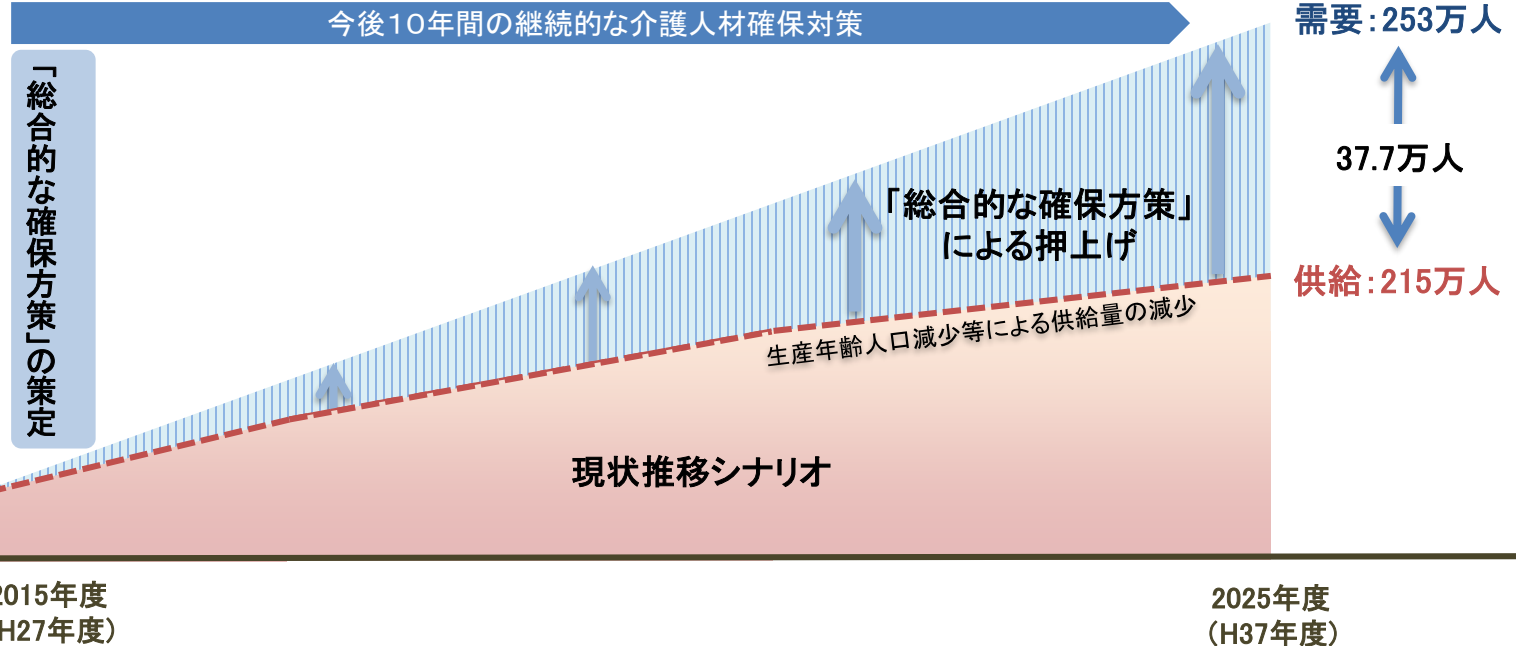
	H30	H31	H32	H37
総人口	234,536人	232,737人	230,823人	219,354人
65歳以上 (%)	68,259人 (29.1%)	68,526人 (29.4%)	68,491人 (29.7%)	66,521人 (30.3%)
75歳以上 (65歳以上のうち%)	33,014人 (48.4%)	34,785人 (50.8%)	35,515人 (51.9%)	41,954人 (63.1%)
要支援認定者数 ①	3,540人	3,477人	3,386人	3,634人
要介護認定者数 ②	8,830人	9,265人	9,667人	11,801人
要支援(要介護) 認定者数①+②	12,370人	12,742人	13,053人	15,435人
認定率	18.1%	18.6%	19.1%	23.2%

2025年に向けた介護人材にかかる需給推計

厚生労働省資料

- 都道府県推計に基づく介護人材の需給推計における需給ギャップは37.7万人（需要約253万人、供給約215万人）
- 都道府県においては、第6期介護保険事業支援計画に需給推計結果に基づく需給ギャップを埋める方策を位置付け、2025（平成37）年に向けた取組を実施。
- 国においては、国会に提出中の「社会福祉法等の一部を改正する法律案」による制度的対応や、都道府県が地域医療介護総合確保基金を活用して実施する具体的な取組などを含めた施策の全体像（「総合的な確保方策」）を取りまとめ、2025（平成37）年に向けた取組を総合的・計画的に推進。
- 3年1期の介護保険事業計画と併せたPDCAサイクルを確立し、必要に応じて施策を充実・改善。

介護人材にかかる需給推計結果と「総合的な確保方策」(イメージ)

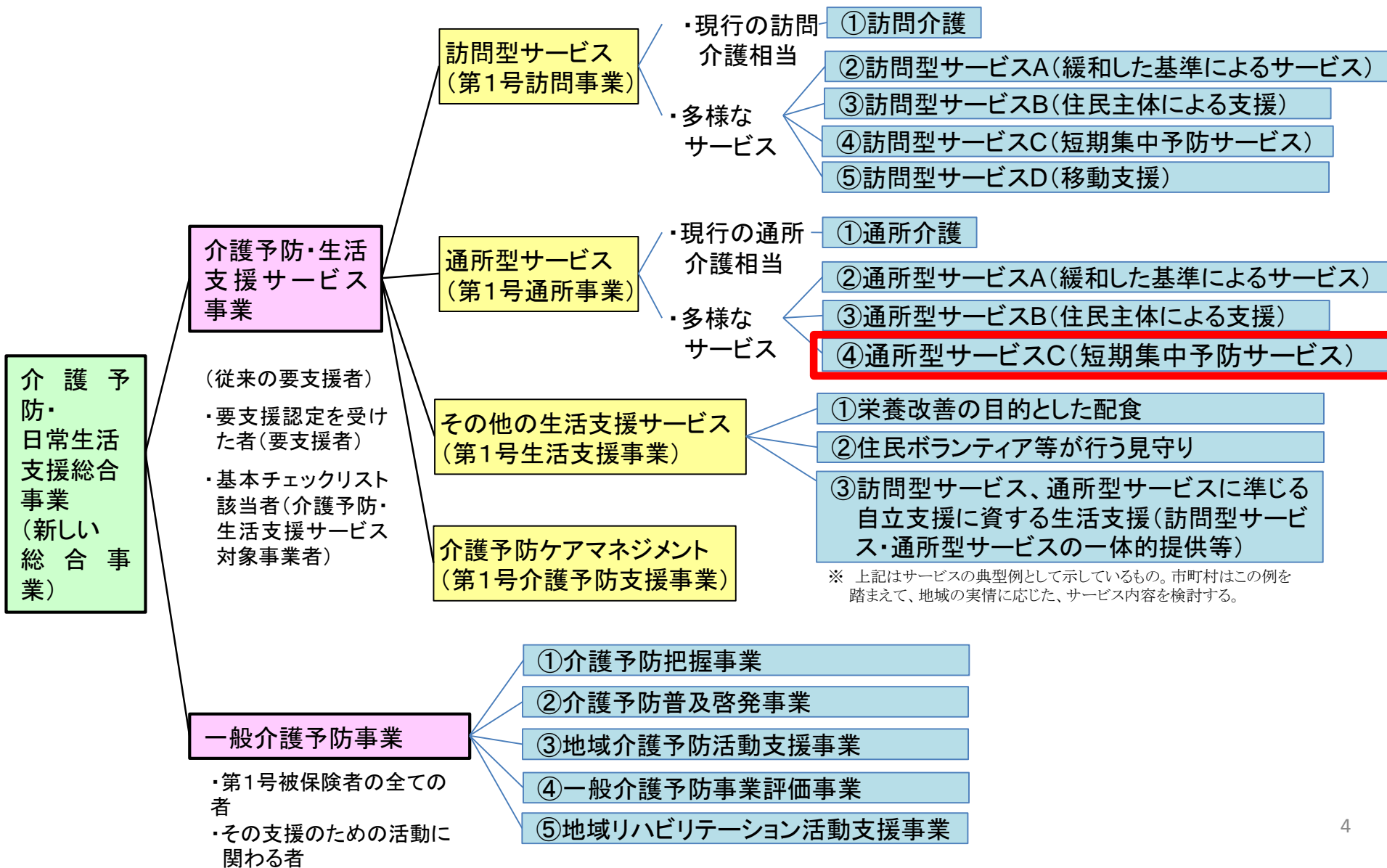


注1) 需要見込み(約253万人)については、市町村により第6期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量等に基づく推計

注2) 供給見込み(約215万人)については、現状推移シナリオ(近年の入職・離職等の動向に将来の生産年齢人口の減少等の人口動態を反映)による推計(平成27年度以降に追加的に取り組む新たな施策の効果は含んでいない)

注3) 「医療・介護に係る長期推計(平成24年3月)」における2025年の介護職員の需要数は237万人～249万人(社会保障・税一体改革におけるサービス提供体制改革を前提とした改革シナリオによる。現状をそのまま将来に当てはめた現状投影シナリオによると218万～229万人。推計値に幅があるのは、非常勤比率の変動を見込んでいることによるもの。同推計及び上記の推計結果のいずれの数値にも通所リハビリテーションの介護職員数は含んでいない。)

【参考】介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の構成



専門職による機能回復



訪問型 **通所型サービスC**

社会参加の促進による介護予防



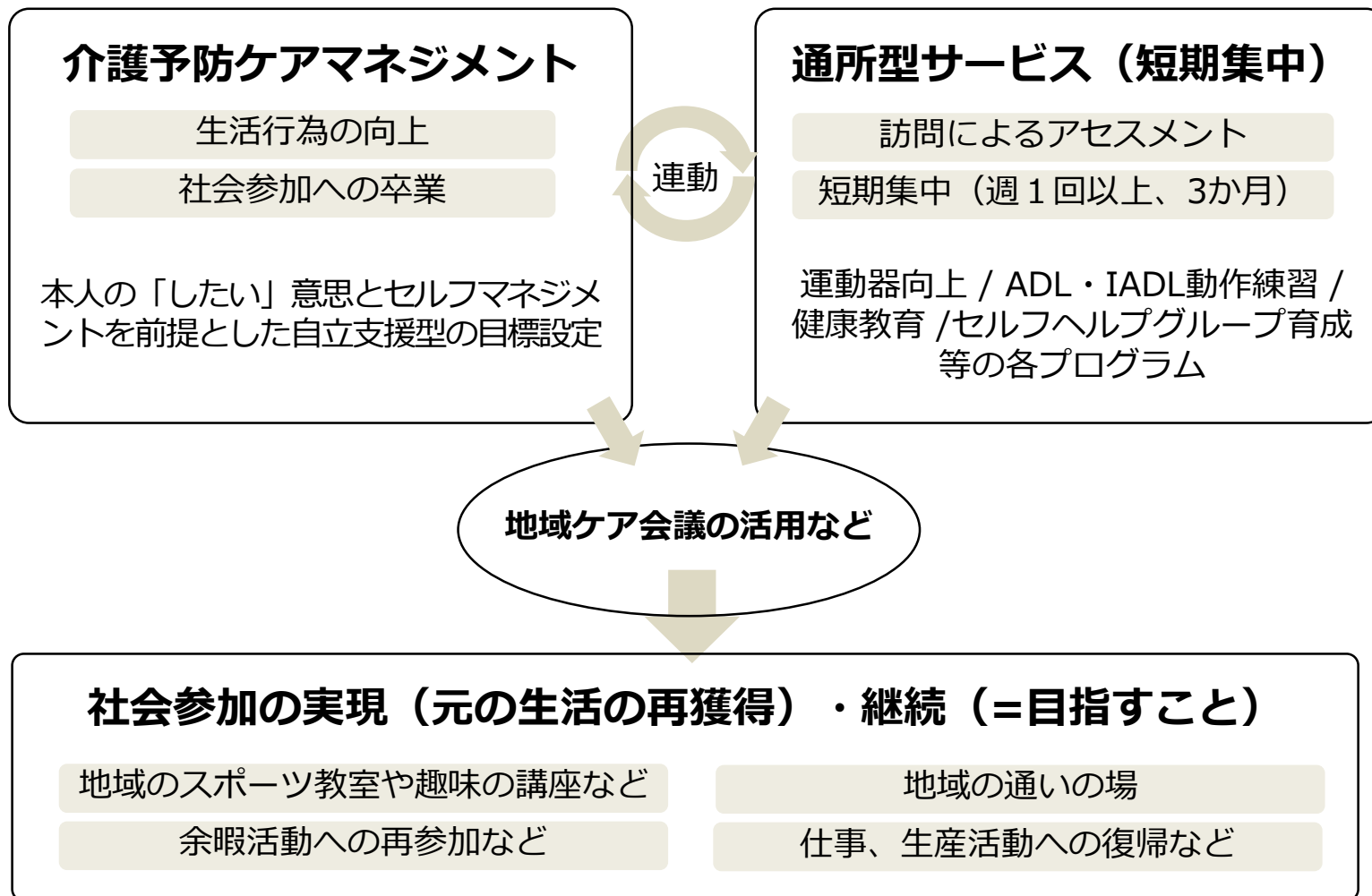
短期間で
機能を回復し
地域へ

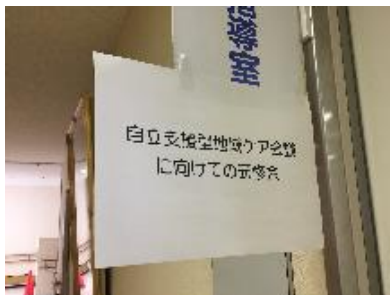
地域にある社会参加の場

地域介護予防活動支援事業

通所型サービス (従前担当・A・B)

寝屋川市が取り組む地域づくり





期間: 2016年8月～2017年3月

回数: 1圏域6回×6包括 計36回

対象: 寝屋川市内の全地域包括支援センター職員

目的: 自立支援型地域ケア会議の司会者ができるようにする

内容: 和光・大分で展開されている内容を軸に展開

ICF、アセスメント、模擬ケア会議など



模擬ケア会議



寝屋川市内のケアマネジャー・デイサービス・訪問介護職員向け自立支援セミナー

第1回



第2回



第3回



模擬会議

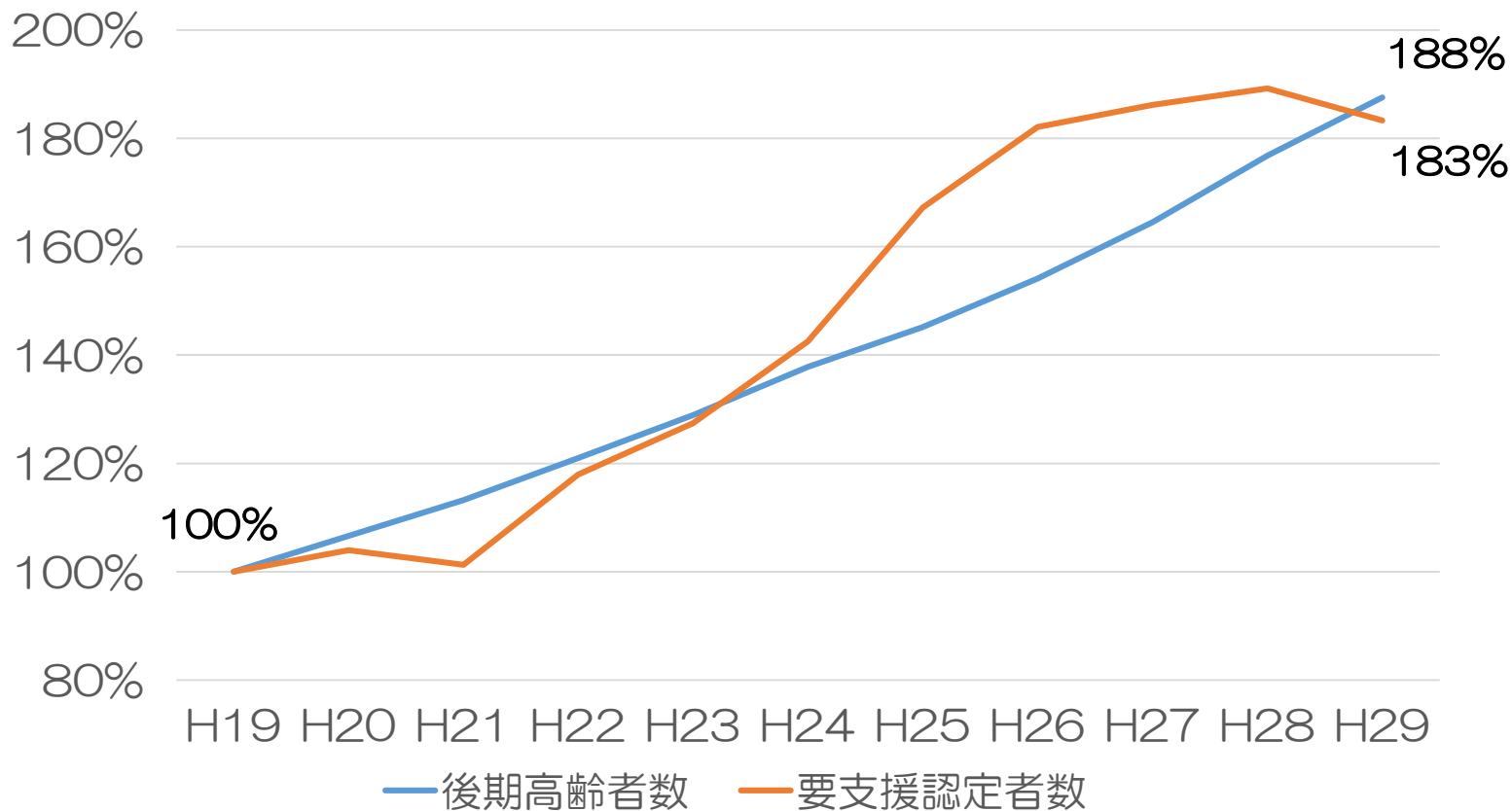


寝屋川市内のリハビリ専門職向けセミナー



寝屋川市の後期高齢者数と要支援者数の推移 (平成19年を100とした場合)

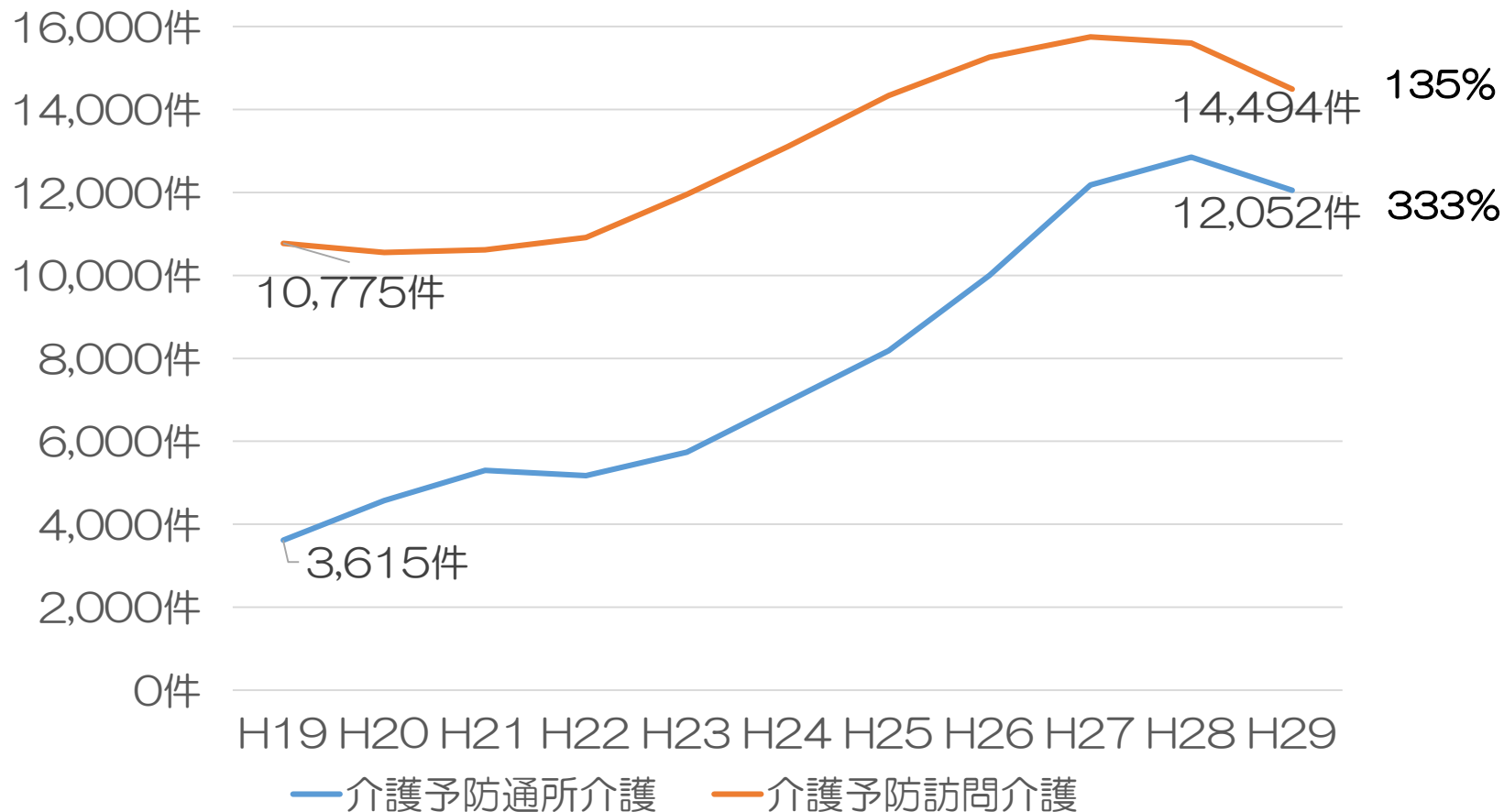
○寝屋川市の要支援者数は平成21年以降、後期高齢者数の伸びを大幅に上回る伸びを示していたが、包括的支援事業の充実がなされた平成27年度以降、横ばいになっている。
○平成29年度で要支援者数が減少。



(出典) 寝屋川市

寝屋川市の介護予防通所介護と介護予防訪問介護の件数の推移 (平成19年を100とした場合)

- 予防訪問介護が135%の伸びに対して、予防通所介護は333%の伸び。
- 平成28年度をピークに平成29年度は減少。



(出典) 寝屋川市

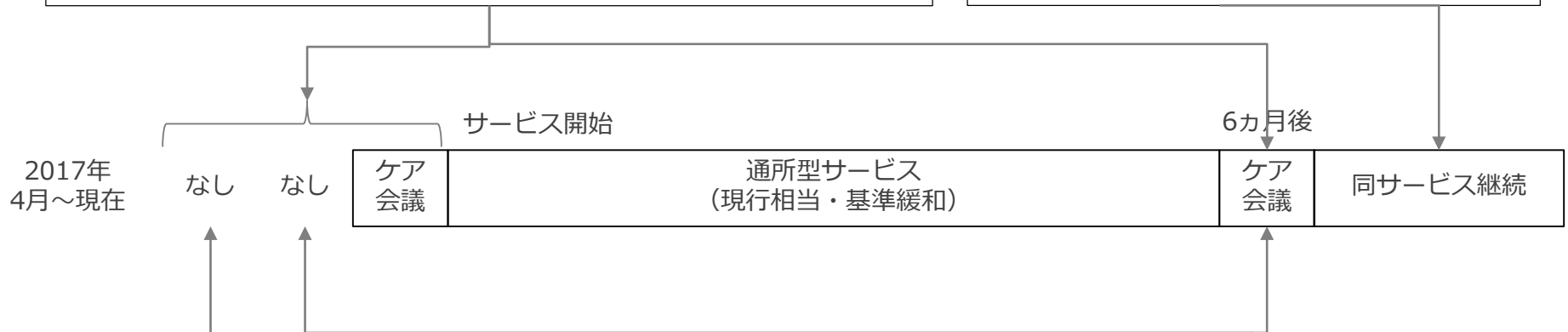
寝屋川市が抱えていた課題

利用者&支援者の“自立の合意形成プロセス”の最適化

専門家助言による自立支援に資する「ケアプランの検証」はできているものの、その後のサービス事業所における「効果的な実践」へとつなげられていない。

サービス提供の継続

左記のとおり、自立支援の目的達成につながる仕組みとなっていないため、同じサービスが提供され続けている



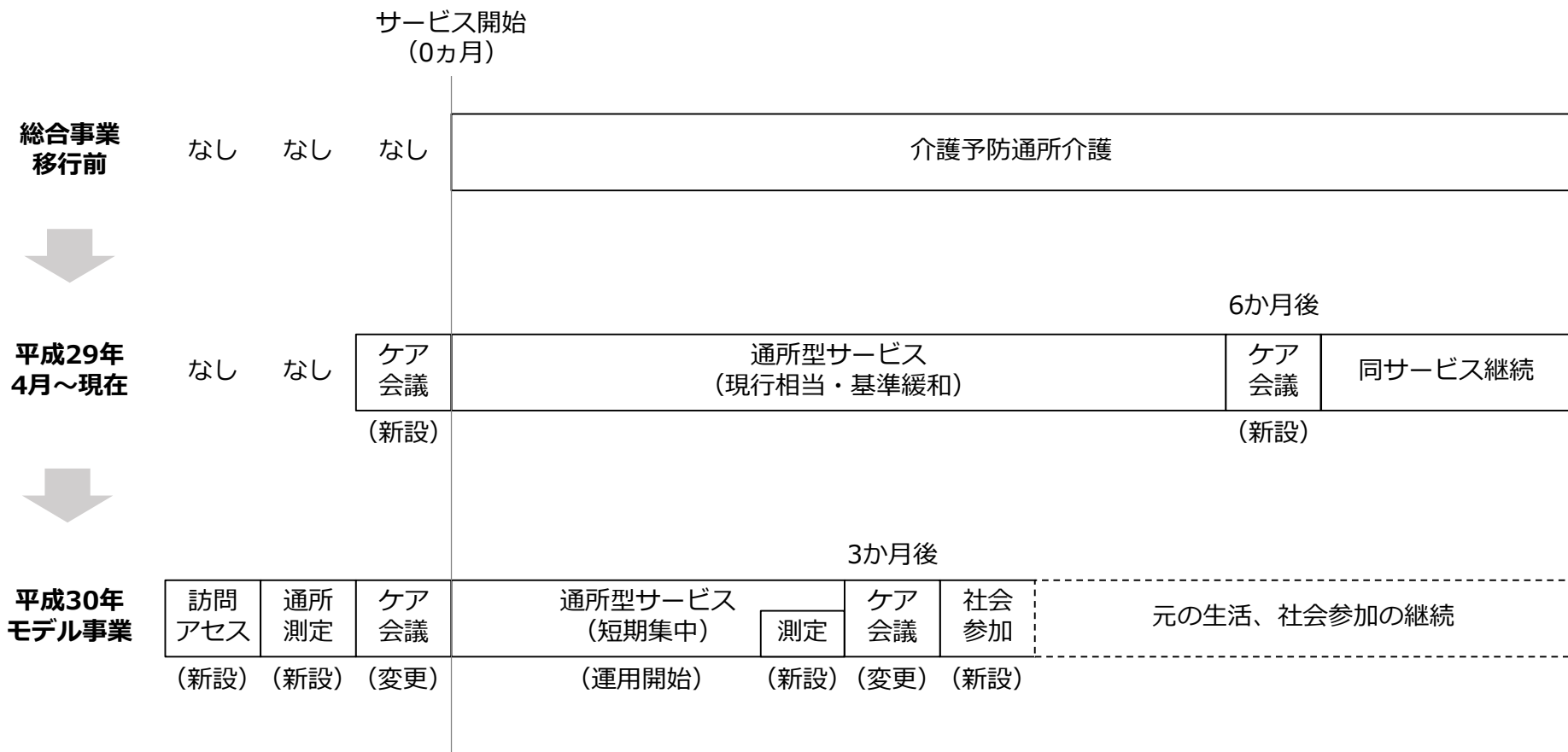
アセスメントの質

現状は、利用者の「実生活に基づく状態像」の把握プロセスに、リハ専門職が直接関与していない。
したがって、初回訪問の時点では、生活行為の改善と社会参加支援による「元の生活・役割の再獲得」の可能性を見立て、最適な目標設定をすることができていないケースが存在する。

利用者状態の経時的変化の把握

現状では、6ヶ月ごとの地域ケア会議による情報共有に留まっており、利用者の「何がどこまでどう」変化しているのか、客観的な測定指標が利用できていない

寝屋川市総合事業の構築ステップ



対象者及び判定基準

- **対象者** → 要支援者（①新規認定者 ②既存サービス利用者）
- **判定基準**

現在の基準

- ・ 要支援であり、
- ・ 通所型サービス（短期集中）を希望するもの

モデル事業の対象者

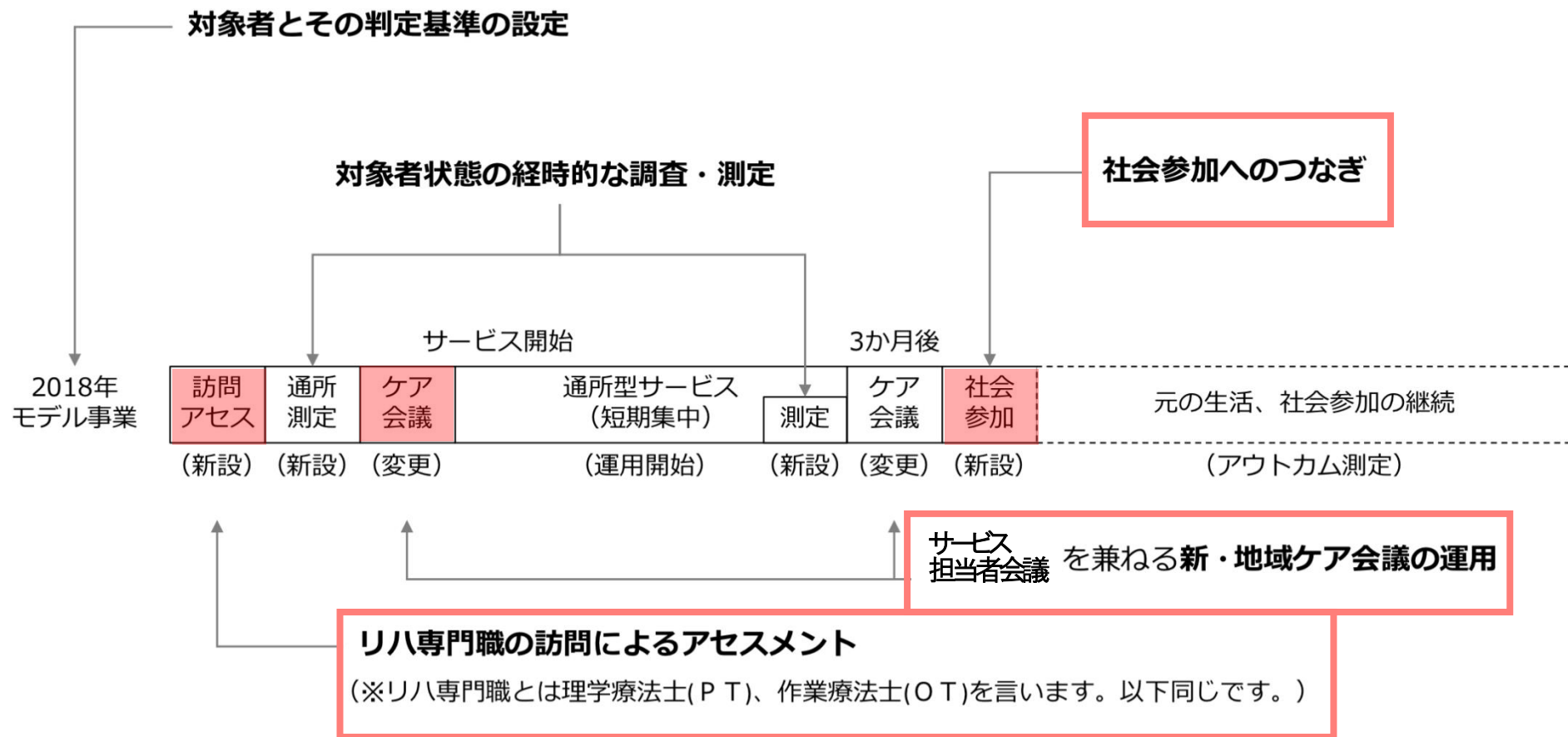
- ・ ①要支援の新規認定者 及び
- ・ ②要支援サービス利用中の既存認定者のうち通所型サービス（短期集中）を原則全員を対象とする
(ただし、本人同意を取得のこと)

例外（3要件）

- ・ 末期ガン：主治医意見書又は医師に確認した記録
- ・ 認知症：主治医意見書における認知症
高齢者の日常生活自立度Ⅲa以上
- ・ 難病：特定医療費（指定難病）受給者証

※その他の精神疾患、急性状態のため、利用が困難と思われるケースについては、事前訪問によるリハ専門職のアセスメント結果の記載を必要条件とし、その後の地域ケア会議にて検討、最終的に市が利用適否を決定する。

通所型短期集中サービスフロー



特徴的な取り組み

自立支援型地域ケア会議(兼サービス担当者会議)



- ・ 1 ケース当たり時間：5～10分
- ・ 参加者：包括（司会者）、ケアマネジャー、短期集中事業所、その他事業所、寝屋川市
- ・ 目的：3か月後に具体的目標を達成するために各自が何をすべきかの共通認識を持つ

寝屋川市 通所型短期集中モデル事業 概要

目的	通所型サービス（短期集中）の効果を検証し、その結果を反映した介護予防・日常生活支援総合事業を実施することで高齢者の介護予防・自立支援の促進につなげる
期間・概要	<p>① 2～4月頃 : サービス提供準備（訪問アセスメント、測定、ケア会議）</p> <p>② 4～8月頃 : サービス提供（調査対象のうち介入群211人）</p> <p>③ 11月頃 : サービス終了3か月後測定</p> <p>④ 12月末 : 研究結果の報告書完成</p>
調査対象者数	要支援者421人（A群・介入群211人、B群・対象群210人）
実施主体等	<p>【研究代表者】 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構 研究総務部次長 服部 真治</p> <p>【協力機関】 千葉大学 予防医学センター社会予防医学研究部門 近藤教授 成城大学 大学院経済学研究科 河口教授 大阪大学 大学院医学系研究科</p>

通所型短期集中事業所一覧

施設名	1回あたりの定員	受け入れ最大定員数	サービス提供日	サービス提供時間
有限会社T-COA DSガネーシャ短期集中リハビリセンター	11人	33人	火・木・土	9:30~11:30
医療法人河北会 リハビリデイ河北	10人	50人	月~金	9:00~11:00
社会福祉法人 百丈山合掌会 クラブ・サンサーラ	11人	11人	水	10:20~12:20
リ・エイブルメント	10人	150人	月~金	9:30~11:30 13:00~15:00 15:00~17:00

事業所案内 《短期集中事業所 リ・エイブルメント》

・ 総合センター4階 作業訓練室 ・ モデル期間限定

・ 利用者数 92名

・ スタッフ内訳

理学療法士：1名	作業療法士：1名
介護福祉士：1名	歯科衛生士：10名
管理栄養士：2名	介助員：7名
ドライバー：3名	
計 25名	



※ 歯科衛生士、管理栄養士は各月 1 回
持ち回りでサポート

短期集中事業への思い


- 利用者さんには**可能性**が必ずある！
- だから、それを見いだしたい！
- 自分でできること = **可能性を増やしていく**！
- その可能性を**自分が思う「生活」**で**使って欲しい**！
- 短期集中事業所、包括、ケアマネジャー、他介護事業所
地域資源が**一つになって**これを実現したい！！

ひきだす
後押しする
つなげる



1日の流れ・アプローチ内容

1日の流れ

- 到着
 - バイタルチェック
 - 面談(セルフマネジメントシートを用いて)
 - 口腔、栄養、運動トレーニング
 - 活動トレーニング
 - 社会参加サポート
- 

アプローチ内容

- セルフマネジメントアプローチ
- 口腔、栄養、運動アプローチ
- ADL/IADLアプローチ
- 社会参加アプローチ
- 介護予防教育

実施スケジュール

